



# ワークショップ開催報告

令和7年度練馬城址公園ワークショップ（全3回）を開催し、地域の方や利用者の声を聴きながら、基本設計案の取りまとめを行いました。

▶開催日時／令和8年2月11日（水・祝）10:00～12:15

▶開催場所／ホテルカデンツァ東京

▶参加人数／23名

## ワークショップの内容

これまでのワークショップの振り返りや、これまでの話し合いの内容などを踏まえて作成した基本設計案の内容を共有し、意見交換を行ったほか、今後、公園で実施してみたい活動や取組みについて意見を出し合い、班ごとに発表を行いました。

## ワークショップを経て決まった設計の内容

### 実践してみたい取組みや活動

## 草地広場・修景池

- ・広がり大切にしつつ、暑い時期も過ごせるよう日陰を確保する
- ・休憩・ピクニック・読書など、思い思いに滞在できる場とする
- ・のびのび体を動かせるような使い方もできる場とする
- ・災害時には、避難場所として機能する空間とする

ヨガ・ピラティス・健康づくり教室 など

## もっと良くするアイデアやご意見

- ・「練馬城」の歴史が伝わる解説の充実
- ・草地広場などに日陰を増やす
- ・水飲み場・手洗い・トイレの充実
- ・ボランティア活動を支える倉庫の確保
- ・既開園地を含めた公園全体の運営体制づくり



### 東京農業大学 入江先生のご講演

東京農業大学の入江です。今年度は3回にわたるワークショップで議論を深め、今回のプランには、歴史の継承や空の広がり、多世代が関われる場づくりなど、皆さまの思いが色濃く反映されていると感じています。今後はこの公園をどのように育み、持続的に運営していくかが大切になります。東京都と利用者などが連携しながら、多くの方々とともに、これから新しい都立公園を育てていくことができたら大変良いものになると思います。

## 公園全体

- ・この地ならではの歴史・自然・水辺の体験を公園の中心に置く
- ・園内の樹木・自然との関わりを活かして遊べる場所を作る
- ・公園を楽しむビューポイントや案内機能を充実させる
- ・災害があっても安全を確保し、防災機能を発揮できる空間を確保する

連絡会をつくり、ボランティア間のコミュニケーションや情報共有を行う など

## 石神井川・水辺

- ・川遊びや生物とのふれあいなど、親水体験を大切にする
- ・水遊びの谷は「夏は水遊び、冬はイベントやライトアップ」のように年間を通して楽しめる場とする

川遊びイベントを通じた環境意識の醸成 など  
コンサートや発表会 など

## 花壇

- ・巡りながら四季折々の花を楽しめる公園にする
- ・公園の歴史を大切に花壇の形や設えとする
- ・無理なく美しさを保てる管理計画を取り入れる

芝の植え付け体験 など

## 草地広場・修景池



## 外周緑地や斜面林

- ・木陰の園路で散歩や休憩などを楽しめる場とする
- ・自然植生の名残がある斜面林は手を入れず保全する
- ・落ち葉対策のため、境界沿いの木は公園内側へ段階的に移動する

落ち葉を集めて腐葉土作り など

## 管理所・エントランス

- ・管理所と舗装広場を核に、滞在・案内・にぎわいが生まれる拠点とする
- ・日常の利用からイベントまで対応できるよう、多目的に使える空間として整える
- ・地域が主役となる催しが開けるなど、地域の活性化につながる場とする
- ・子どもから高齢者まで、多世代が思い思いに過ごせる居場所をつくる

今後は、実施設計（工事の実施に必要な詳細図書の作成、関係機関協議など）を進めてまいります。東京都の公園事業への、引き続きご理解、ご協力お願い申し上げます。  
※この図は基本設計案であり、今後変わる可能性があります。

